

## (2) 土地利用

本地域の土地利用は、住宅地と教育機関などの公共施設や商業・業務施設などが多くみられる。全体に低層住宅が多く、中部から東部にかけては、中高層住宅がやや多く分布している。

業務施設は大小様々な規模のものが中部～西部に分布し、中・北部の一部には工業施設がみられる。

学校などの公共施設は中部から東部、南部などに、公園は各所に小規模なものが点在している。

図 土地利用図



資料) 国土地理院

## (3) 道路網

本地域の広域幹線道路は、南側を大阪高槻線が、西側を大阪内環状線が通っている。本地域内には、広幅員の幹線道路は東西方向に2本平行して通り、南北方向にも通っている。

区画道路は、一般の生活道路で、乗用車の対向が可能な幅員の道路で、全体に格子状にみられる。

狭隘道路や行止り道路は、乗用車の対向がしにくいかできない道路や袋小路となった行止りの道路で、南部や北部などにみられる。

図 道路網図



作図) (株) ランドシステム研究所、岡本

## 2-4. 災害予測等

### (1) 水害予測

#### ① 淀川外水氾濫

淀川の外水氾濫予測図によれば、本地域は、浸水深の最大は2m～4mで、3m～4mの区域は、東部や南西部などにみられ、中部、北部の一部は2m～3mの浸水深となっている。

図 外水氾濫予測図(淀川)



作図) (株) ランドシステム研究所、岡本

収容避難所である大隅西小学校、瑞光中学校、大阪経済大学は、この図によれば、1階まで浸水する予測となっている。

②神崎川・安威川 外水氾濫

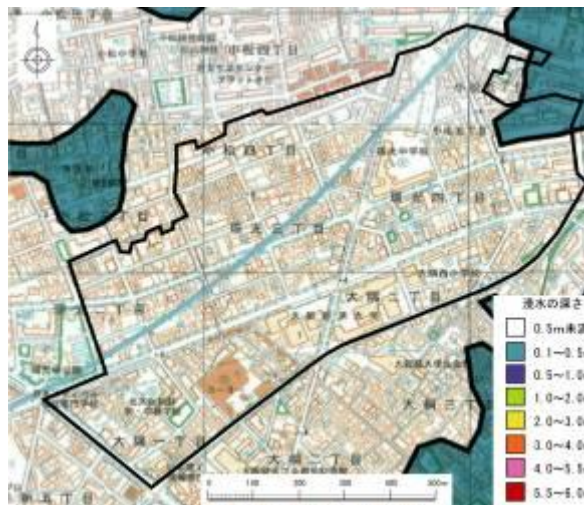
神崎川・安威川の外水氾濫予測図では、本地域は、浸水は発生しない予測となっている。

③内水氾濫

内水氾濫予測図によれば、本地域は、0.1m～0.5mの浸水深が中部から北部にかけての一部にみられる。

大隅西小学校、瑞光中学校、大阪経済大学は1階も浸水しない予測となっている。

図 内水氾濫予想区図



作図) (株) ランドシステム研究所、岡本

(2)地震予測

①上町断層 震度予測

上町断層が活動した時の震度予測は、震度予測図によれば、本地域は全域が震度6強の激しい揺れが発生するものと予測されている。



図 震度予測図



資料) 大阪市危機管理室

②液状化

地盤の液状化はその土地の地下に堆積する砂層の分布や固結度、地下水位などの状況により大きく変化する。

本地域の液状化の危険性は、北部、南部で高く、発生しやすい地区がみられ、東部および中部以西は極めて発生しにくいと予測されている。

図 液状化予測図



資料) 大阪市危機管理室